

二部集落支援員活動レポート



1月4日より、二部地区の集落支援員として二部公民館に勤めております、松原悦子です。

予定では公民館祭りや、活性化各部会事業の実施及びまとめ等、盛りだくさんで忙しい毎日のはずでしたが、新型コロナウイルス感染拡大という人智の及ばない事態で軒並み中止となり、本当に残念です。

今は、明るい兆しが見えるはずの来年度に向けて、知識を得て、力を蓄える時期なのかもしれないと理解しています。

たくさんの方にお話を伺い、私たちが安心して生活できる、活気ある地域となるよう、微力ながら尽力したいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

松原 悦子

認知症地域支援推進員活動報告

オレンジ通信 ～地域でともに～

Vol.2



認知症サポーター養成講座を開催

認知症の正しい知識と理解の普及を図る「認知症サポーター養成講座」を昨年11月、大内公民館と岩立交流館で開催し、60～90代の計30名が参加しました。

参加者の皆さん一人一人が、認知症を我が事として捉え、真剣な表情で学ぶ姿が大変印象的でした。

皆さんの地域でも「認知症サポーター養成講座」を開催してみませんか？いつでも地域包括支援センターにご相談ください。

濱田 辰美



岩立交流館で開催した講座の様子

講座内容

- 認知症は脳の病気であり、誰でもなり得る可能性があること。
- 本人は「認知症かもしれない」と不安でいること。
- 認知症の人の気持ちを理解し、その人ができない部分を補うことで、やれることが増え、穏やかに暮らすことができること。

参加者の声

- 認知症を理解することで、自分に何ができるか学べた。
- 認知症は誰でもなる病気で、他人事でない。
- 認知症の人を地域で支えあうには、驚かせないこと、優しく見守ること、声掛けをすることが大切。

問い合わせ先 健康対策課 生活相談室 TEL 0859-68-5535

和牛農家さん
応援コラム

栄冠目指して

～全共まで あとモ～222日～

今年10月、鹿児島県で全国和牛能力共進会（全共）が開催されます。全共は、和牛の日本一を決めるため、5年に1度開催される「和牛の祭典」です。全国から優秀な和牛を一堂に集めて、改良の成果やその優秀性を競います。

全国の和牛関係者にとって、この大会で優秀な成績を収めることは、各道府県の和牛のブランド力の向上につながるため、とても重要。

次号から、全共に関する情報や町内の和牛農家さんらの奮闘をこのコラムでレポートします。お楽しみに！



▲写真は前回大会の平成29年・全共宮城県大会の様子



第12回大会マスコットキャラクター
かごうしママ